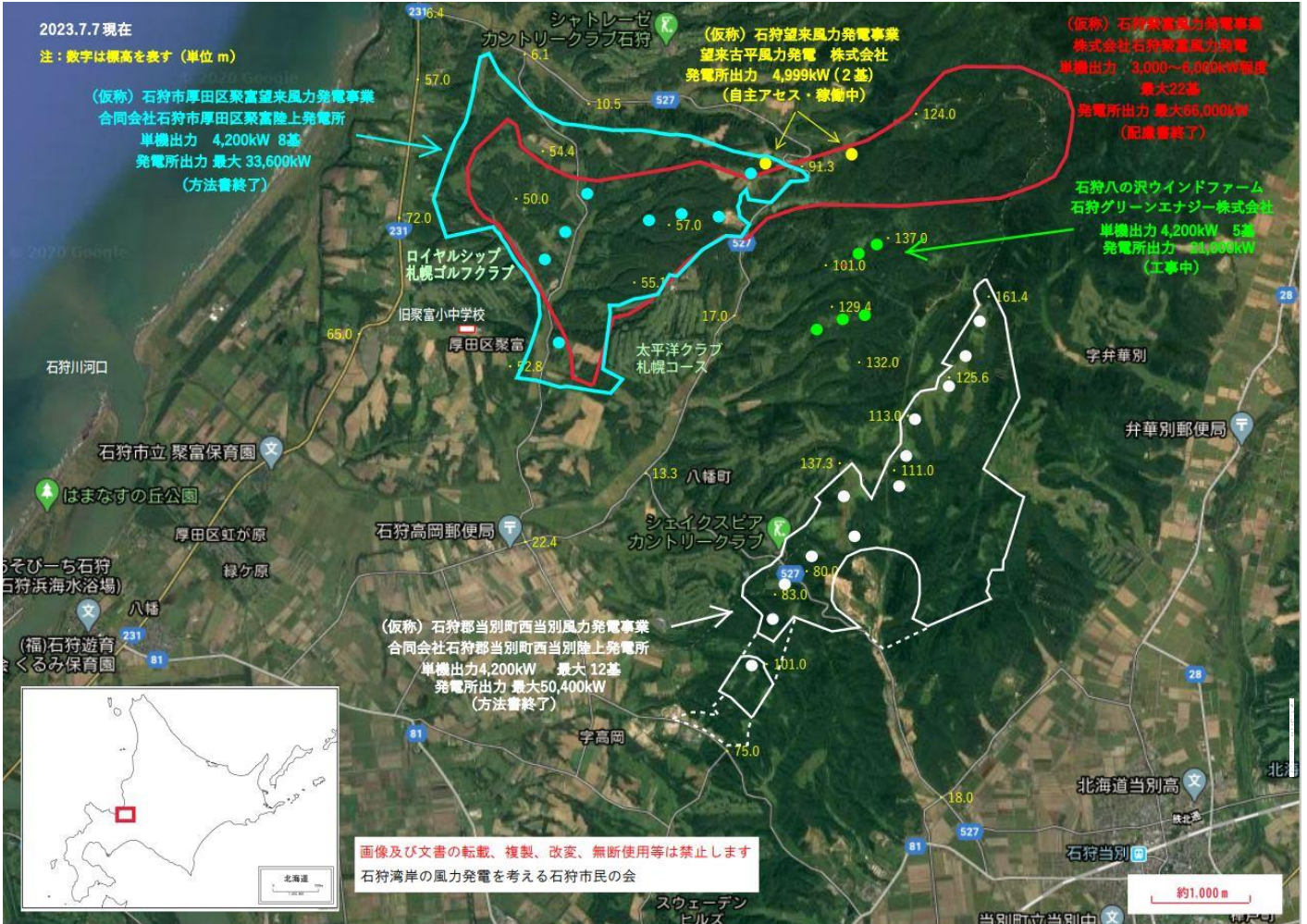


石狩市厚田区と当別町の山や森や農地に
巨大風車を乱立させてはいけない！

現在、北海道石狩市厚田区及び当別町の丘陵地帯に巨大風車を最大62基建設する事業計画が進行しています。

① 石狩市厚田区南部と当別町での風力発電事業:4事業者により、最大47基



種々の問題点

(1) 周辺住民への健康影響が大きく懸念される

石狩望来風力発電からの最寄り住宅まで約 7 0 0 m、石狩八ノ沢の事業風車からの最寄り住宅まで約 5 0 0 m、静かな田園環境を売りにしている古民家の宿まで 1 km 余り。厚田区聚富の事業風車から医療関係施設まで約 1 km、と住宅等との離隔距離が短く、4 事業が次々と稼働した場合、風車騒音や低周波音の累積的影響が大いに懸念される。

(2) 自然環境（希少猛禽類やコウモリ）への影響が強く懸念される

計画地の一帯はほとんどが「石狩市風力発電ゾーニング計画」（2019 年）で「環境保全エリア」に指定されている。石狩望来やハノ沢の事業地およびその周辺では、ハチクマ・チュウヒの営巣木がアセス調査で確認されており、周辺住民はクマガワ・オオジシギの営巣も確認していた。コウモリのバッドストライクも強く懸念される。毎年春先、近隣の水田にはコハクチョウの大群が渡りの途中、数週間滞在するなど、野鳥を中心に自然への影響が大きい。

(3) 林道整備の名の下で、風車建設道路を整備

八ノ沢の事業者は道路周辺の森林を広く伐採して道路の拡幅工事を行い風車の建設を進めており、植生の豊かな周辺の自然環境を破壊している。

(4) 上記の建設について市民・町民への説明が不十分

ある業者は市民団体の説明会開催の求めに応じず、他の業者は周辺の町内会の集会でしか説明していない。また当別町までの送電線敷設工事がすでに開始されているが、影響を受ける石狩市民・当別町民への説明も十分行われていない。

② 石狩市厚田区古潭・嶺泊での風力発電事業

事業実施想定区域は751haで、ほとんどが農業用地(広大な麦畑や牧草地)。丘陵地からの景観はすばらしく、別荘地が周辺に点在している。このような地域に単機出力4,300~6,100kW、最大15基、最大出力91,500kW、高さ180m(札幌テレビ塔は147m)の風車が15基も建設されます。



図1. 事業実施想定区域(住民説明会資料より引用)

懸念される種々の問題点

(1) **周辺住民への健康影響が大きい。** 事業想定区域からの最寄り住宅まで約400m。「望来豚」のノースベストファームまで1km。2kmの範囲に155戸が居住。北大

の健康リスク予想簡易システムによると、不眠リスクが高いエリア(風車から約3km)に120人が居住、1割以上の人が人眠時に音が気になるエリア(風車から約10km)に、厚田本町を含む1,300人が居住していると予測された。厚田区の人口は約1,700人なので80%の住民の生活の質の低下が心配される。厚田市民風力発電所と厚田風力発電所との風車騒音や低周波音の累積的影響、さらに現在建設計画が進んでいる厚田区南部49基による累積的影響も無視できず、人および豚への健康影響のリスクはさらに高まる。

(2) **景観破壊** 厚田区は海岸段丘が発達しており、丘の街として、海と山、そして丘の上に広がる田園風景が多くの人々の心をとらえ、この景観を求めて移住し、夏の間を別荘で過ごす人々が多い。「望来ビュー」は坂の上から見下ろす厚田の海と丘のダイナミックな景観で、誰もが心奪われる景観である。風車は「望来ビュー」の丘の上に建設されるが、果たして受け入れられるか。180mを超える風車は、「嶺泊展望パーキング」から垂直視野角約5.9度、「戸田記念墓地公園」から約4.3度と大きく見える。周辺住民の生活景観となる「古潭地区」は700mの離隔のため約14.2度、「望来地区a」は約9.6度と、これは受忍限度を超えていると考えられる。別荘利用者の理解を得るのも難しいと思われる。

(3) **調査空白地帯** 計画地の一帯はほとんどが「石狩市風力発電ゾーニング計画」(2019年)の「環境保全エリア」に指定されている。農業地域であるため「農用地区域」が環境保全エリアとなる。地域森林計画対象民有林も所々分布しており、ここは調整エリアとなっている。



図2. 15基の風車から広がる風車騒音の様子

北海道大学大学院工学研究院環境工学部門地域環境研究室が開発した「風力発電による健康リスク簡易予測システム」により作成。

1割の人が安眠できなくなる低周波音(80Hz、41dB)は10kmの範囲まで届きます!!

・青点線40.5dBは、環境省による全国疫学調査で不眠症のリスクが上昇した域値を示しています。この域値より高い騒音のエリアには約120人が居住。不眠症になるリスクが高い。

・赤点線35dBは、静かな地域では風車騒音はこの値を超えないように求められています(環境省指針値)。

・風車から4km余りの範囲は、35dBを超えており、ここに約330人が居住しています。

